



2020年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 森 豊隆
(コード番号 2372 東証第一部)
問 合 せ 先
役 職 取締役 社長室担当
氏 名 小島 修一
電 話 03-3264-3148

2020年3月期業績予想との差異および繰延税金資産の計上に関するお知らせ

当社は、2019年5月10日に公表いたしました2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の連結業績予想と本日公表いたしました2020年3月期の業績に差異が生じました。また、2020年3月期決算において繰延税金資産を計上いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期 連結業績予想数値との差異（2019年4月1日～2020年3月31日）

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	一株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	13,000	1,300	1,300	1,000	85.79円銭
実績値 (B)	10,593	1,207	1,149	1,236	105.82円銭
増減額 (B-A)	△2,407	△93	△151	236	—
増減率 (%)	△18.5%	△7.2%	△11.6%	23.6%	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	10,578	1,219	1,186	912	78円31銭

2. 差異の理由

2020年3月期業績予想の連結売上高につきましては、先端医療事業における成長戦略として、細胞バンク事業の本格化および細胞治療向けの細胞の製造受託による収益拡大を見込んでおりました。細胞バンクおよび細胞治療の推進にあたり、海外医療ツーリズム事業の展開により顧客の確保を計画しており、2019年7月9日付「GuestLogix(China)Limitedとの細胞バンク・細胞治療等に係るメディカルツーリズム事業の協業に関するお知らせ」にてお知らせしているとおり、中国・香港における医療ツーリズムの事業化を進めておりましたが、日本における医療ツーリズム受入機関の体制整備等に時間を要しているなか、新型コロナウイルス感染症の流行により事業計画の見直しが発生

した事等により、細胞バンクおよび細胞治療による売上が当初の予想を下回る事となりました。

また、SMO 事業において新型コロナウイルス感染症の流行により新規試験の開始時期の見直しや実施中試験の新規被験者登録の中断等が発生した事、メディカルサポート事業において安定した賃料収入が見込める事から販売用不動産の売却を見直す事とした事等により、連結業績予想の数値に対して上記のとおり差異が生じました。

3. 繰延税金資産の計上について

当社の近年の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、回収可能性のある部分について繰延税金資産を計上することとし、2020年3月期において法人税等調整額△275百万円（△は利益）を計上いたしました。

以 上